

岐阜北週報



2月

世界理解推進月間

<input type="checkbox"/> 題字	国井省二	<input type="checkbox"/> 会長	国井 省二	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	服部洋一郎	2009-2010
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	波多野光裕	No.1342
		会報委員長	片桐順一郎	10.2.24 発行

前回の記録

第 1341 回例会 2/17 (水)
卓話「LED 照明～省エネの取り組み」
卓話者：パナソニック 電気(株)緒方久
人様 担当：苅谷・長野

本日の予定

第 1342 回例会 2/24 (水)
職場例会「岐阜シティタワー
4 3 及びぎふチャンの見学」
担当：職業奉仕委員会

次回の予定

第 1343 回例会 3/3 (水)
慶祝行事・クラブフォーラム(9)
担当：米山奨学委員会

会長挨拶 【国井 省二 会長】

会員の皆様、こんにちは。
立春が過ぎても、まだまだ寒い日が続きます。
会員の皆様におかれましては、風邪などひかないよう気をつけてお過ごしください。

今月のはじめには、岐阜市長選挙があり、現職の方が当選されました。そこで、いつも疑問に思っていたことを調べてきたので、少し述べさせていただきます。

「選挙で得票数が同じ」の場合はどうするか？。選挙で定員が1人のところに2人立候補して、得票数が2人とも同じだった場合に、当選はどうなるのか。得票数が同数になるということはめったに起こらないが、もし同数の場合でも再選挙は行いません。「公職選挙法」に同数だった場合の規定があります。第95条に「得票数が同じであるときは、選挙会において選挙長がくじで定める」とあります。同じ得票数だった場合はくじで決めるのです。しかも、くじを引くのは、立候補者自身ではなく、選挙長が引くことになっています。

以上を持ちまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。本日も宜しくお祈りします。

米山功労者表彰報告

松野秀計会員、波多野光裕会員に米山功労者表彰が授与されました。

出席報告

会員数：34名
出席数：31/34
出席率：91.18%
欠席者：3名（出席免除1名 93.94%）

ニコニコ BOX (敬称略)

苅谷二郎：
今日は卓話です。長野さんよろしく。
長野鉄司：
本日卓話です。パナソニック電気さんよろしく。
竹村博之：
今日も元気で出席出来ました。
相宮貞雄：
若山さん、ご苦労様です。

委員会報告

職業奉仕委員会
来週は職場例会です。通常1時30分開始ですが、2時からです。お間違えのないように。

次回例会のご案内

第1343回 3月3日(水)
慶祝行事・クラブフォーラム(9)
担当：米山奨学委員会

会報・広報委員会 永瀬 章

卓話 パナソニック電工(株) 緒方久人様

LED照明～省エネの取り組みと題して地球温暖化防止のため、CO2の削減は全世界的な命題であり、日本の鳩山総理も京都議定書の通り、1990年のCO2の排出量に対し、2020年には25%の削減を表明しています。日本ではその削減のために風力発電、太陽光発電を振興する等、色々な施策がとられているところですが、車や照明にも省エネに向けて新たな開発が行われています。

照明においては、青色ダイオードの発明により無色の光を出すことが出来るLED照明が開発されました。LED照明の特徴は約40000時間という長寿命であり、低電圧でも点灯するため省エネにも貢献できる。また、熱線、紫外線が少ないため低誘虫性にも優れていて、寒冷地でも明るく点灯します。

具体的には、消費電力は、白熱球と比べ、その消費電力は87%もダウンすることが出来、その寿命は、なんと白熱球の27倍もの長寿命となっています。今後、益々の研究開発によりコストダウンが計られれば、もっと普及することでしょうと、説明されました。

会員からは具体的な質問が多数出て、皆の省エネへの関心の深さを感じる事が出来ました。